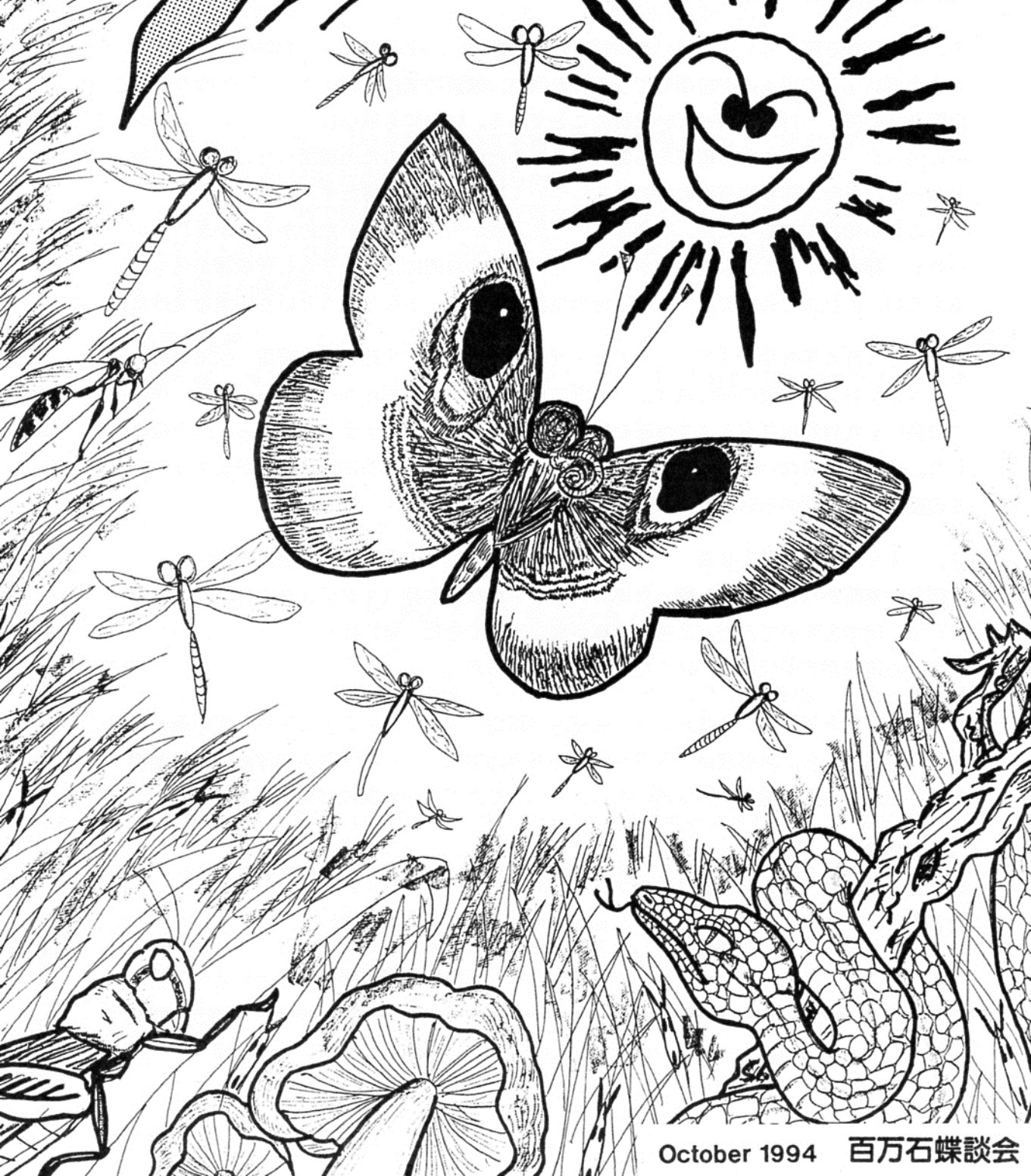
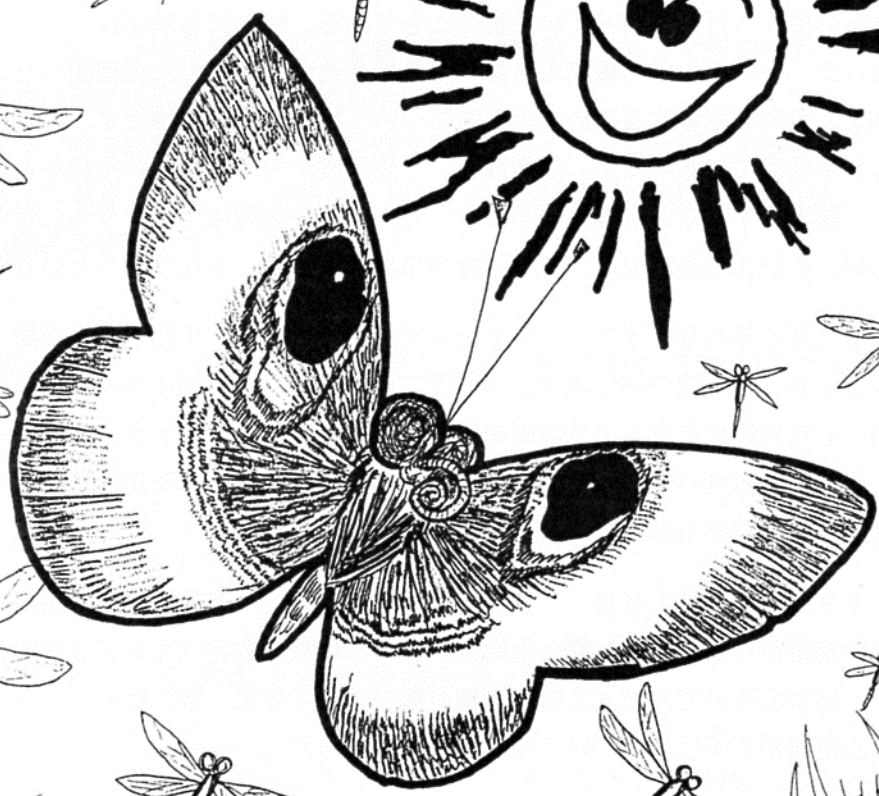


石蝶

NO.110



ウラナミアカシジミの目撃・採集例若干

生 田 省 悟

ウラナミアカシジミの石川県での分布は、金沢市北部と能美郡辰口町周辺に偏っているらしい。筆者は若干ながら、従来記録の少なかった地域及び記録のなかった地域で、本種を目撃・採集したので報告したい。

1. 1993年7月24日 石川郡吉野谷村瀬波 1♀確認 生田省悟

オナガシジミのポイントを探してうろつき回り、瀬波の集落を対岸に見る、かなり急な山腹と谷の接する付近を調べていた折のことである。いかにも飛び古した感じのオレンジ色の個体が、オニグルミの樹間から舞い降りてきたので、念のため確認したところ、本種であった。当時、筆者は石川の蝶の分布については殆ど知識を持たず、県内で本種を見たのもこれが初めてであったが、普通種という先入観から、やはりいたのかとしか思わなかったし、標本にすることも考えなかった。ただ、山の斜面にはコナラらしき樹種が見られるものの、それまで各地で見てきた本種の生息場所とは、かなり違うという印象を受けた。

2. 1994年6月18日 金沢市キゴ山 1♀採集1♀確認 生田省悟

キゴ山における本種の初記録は、竹谷宏二氏によって昨年報告されている。当日、現地でお会いした竹谷氏ご本人より情報を得た後、林縁にあるミズナラの小木から1頭を採集した。比較的新鮮な♀であった。また、その直後、近くのススキにもう1頭が止まっているのを発見し、こちらも♀であることを確認した。

3. 1994年7月19日 金沢市国見 1♀採集 生田省悟

国見の集落から林道を少し登った地点にある平坦な雑木林（ギフチョウの好採集地らしい）で、灌木を叩いてみたところ、本種が飛び出してきた。鱗粉はかなり落ちてはいたものの、左後翅が若干破損しているだけの個体であった。

なお、1994年6月22日にも、医王山（富山県福光町）で1♂を採集している。これは、夕霧峠から百万石道路を700mほど行った地点（小さな休憩所の付近）のことである。末尾ながら、種々御教示頂いた竹谷宏二・松井正人の両氏にお礼申し上げる。

《参考文献》

- 松井正人, 1991. 石川県に於けるゼフィルスの分布3. 翔(90): 3-6.
竹谷宏二, 1993. ウラナミアカシジミ金沢市キゴ山に産す. 翔(103): 2.

《いくた しょうご 〒921 金沢市平和町3-22-10》

表紙デザイン：小 幡 英 典

ヒゲナガヒメルリカミキリの石川県初採集記録

江崎功二郎・高田兼太

筆者らは訪花性誘引剤を用いた誘引トラップで、石川県で初記録のヒゲナガヒメルリカミキリを多数採集しているので報告しておく。

| | | |
|------------------|-----------|------|
| 1994年6月 6日～7月 4日 | 石川郡吉野谷村佐良 | 3頭採集 |
| 1994年6月 6日～7月 4日 | 〃 尾口村女原 | 6頭採集 |
| 1994年7月19日～7月26日 | 〃 白峰村大杉谷 | 1頭採集 |

平野・大橋(1993)は岐阜県において本種を同様の誘引トラップで多数採集しており、本種が訪花性誘引剤に反応することは明らかである。

吉野谷村と尾口村で採集された個体は新鮮な個体が多く、この付近での発生が6月下旬頃であると考えられる。また、この誘引トラップの設置箇所付近にはクリの生立木があり、本種との関連が示唆される。

《参考文献》

平野照雄・大橋章博, 1993. 訪花性誘引剤で採集した岐阜県で記録の少ないカミキリムシ2種.
甲虫ニュース(103): 4.

《えさき こうじろう 〒920-23 石川郡河内村内尾ロ76-2》

《たかだ けんた 〒920-11 金沢市若松町警備野3番地 山本和男方》

宝達山でムラサキシタバを拾う

松井正人

宝達山山頂のブナ林で、ムラサキシタバの新鮮な上翅1枚と下翅2枚を拾った。まるでそこに1頭のムラサキシタバがいるかのような状態で3枚の翅があり、あたかも羽化直後の個体は何者かに胴部を食べられ、上翅1枚が持ち去られたような感じだった。

1994年7月30日 押水町宝達山ピーク ムラサキシタバの翅 松井正人

県内ではこれまで金沢市以南でしか記録されていず、7月30日という早い記録も興味深い。

今年の日本列島は雨が少なく異常高温が続いたため、稲の成長も10日程早く、加賀市では8月13日から稲刈りが始まった。虫の発生も1週間から10日程早くなっていると思われる。

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

石川県のジャノメチョウ

松井正人

石川県の蝶シリーズ、タテハチョウに続き、今回からジャノメチョウについて紹介したい。県内からは、迷蝶を含め15種が記録されているので、数回に分けて紹介する。

同産地のデータは最も新しいものを採用し、メッシュ分布図は石川県をカバーする国土地理院発行の5万分の1の地形図25枚をそれぞれ16等分して用い、そのメッシュ中に分布地が1カ所でもあれば、そのメッシュを「■」として表した。

文献の4桁の数字については、1000番台は石川むしの会の「とっくりばち」、2000番台は百万石蝶談会の「翔」を示し、下3桁はその号数を示した。また、9000番台の文献については、最終回に一括して掲載する事にした。

1 ヒメウラナミジャノメ

県内全域に普通に見られ、広く分布する。

文献

| | | | | |
|-------------|-------------|----------|------|------|
| 1992年 6月 7日 | 内浦町松波坪根 | 3 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 5月17日 | 輪島市寺山 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 6月 7日 | 柳田村上町 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1991年 6月 8日 | 能都町鶴川 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1991年 9月 5日 | 穴水町越の原 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1991年 6月 8日 | 穴水町別所岳頂上 | 2 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1993年 9月 7日 | 門前町猿山 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1990年 5月20日 | 門前町深見 | 2 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1991年 6月 9日 | 門前町谷口 | 1♂ 1♀ 目撃 | 松井正人 | |
| 1993年 9月 7日 | 門前町池田 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1979年 6月10日 | 門前町八ヶ川 | 3 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 6月 7日 | 門前町本内 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1990年 5月20日 | 門前町六郎木 | 2 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1993年 6月 9日 | 鹿島町石動山 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1989年 9月 9日 | 富来町荒屋 | 2 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1990年 8月18日 | 富来町高爪山 | 1♀ 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1993年 8月28日 | 富来町鹿頭 | 2 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1987年 9月 6日 | 志賀町雨谷 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1983年 6月19日 | 志賀町宿女 | 2 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1985年 6月14日 | 志賀町神田 | 数頭目撃 | 松井正人 | |
| 1983年 6月19日 | 志賀町眉丈山 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1989年 6月14日 | 羽咋市国立青年の家 | 1 0 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1989年 9月16日 | 志雄町敷波 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1990年 8月26日 | 押水町河原 | 2 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1991年 8月24日 | 押水町宝達山山頂 | 2 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1983年 7月 3日 | 津幡町甲斐崎山 | 2 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1990年 8月26日 | 津幡町三国山 | 2 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1991年 5月11日 | 津幡町中山 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1990年 5月13日 | 津幡町南横根 | 1 頭目撃 | 松井正人 | |
| 1961年 8月29日 | 金沢市医王山 | ♂♀ | 桜井正喜 | 9052 |
| 1961年 6月 2日 | 金沢市医王山小学校付近 | ♂♀ | 桜井正喜 | 9052 |

文献

| | | | | |
|-------------|-----------|---------|--------|------|
| 1971年 5月21日 | 金沢市笠舞 | 2頭目撃 | 松井正人 | |
| 1993年 5月31日 | 金沢市丸の内 | 3頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 7月12日 | 金沢市曲子原 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1971年 9月12日 | 金沢市三口新 | 2頭 | 松井正人 | |
| 1993年 8月 8日 | 金沢市三小牛山 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1978年 6月 8日 | 金沢市順尾山 | 多数目撃 | 松井正人 | |
| 1978年 6月12日 | 金沢市小原 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1985年 6月13日 | 金沢市小豆沢 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1978年 6月 1日 | 金沢市倉谷川 | 1頭目撃 | 松井正人 | 2001 |
| 1972年 5月28日 | 金沢市大桑 | 多数目撃 | 松井正人 | |
| 1978年 9月17日 | 金沢市大平沢 | 3頭目撃 | 松井正人 | |
| 1971年 6月23日 | 金沢市天池 | 2頭目撃 | 松井正人 | |
| 1991年 8月23日 | 金沢市平栗 | 2頭目撃 | 松井正人 | |
| 1956年 6月 日 | 金沢市野田 | | 小山千蔭・他 | 1003 |
| 1971年 5月22日 | 金沢市涌波 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1984年 6月23日 | 金沢市甥杉 | 1頭 | 澤田 博 | |
| 1988年 9月 2日 | 河内村内尾千丈温泉 | 1♂ | 中山佐一郎 | 9127 |
| 1990年 5月27日 | 鳥越村河原山 | 2頭目撃 | 松井正人 | |
| 1990年 5月27日 | 鳥越村釜清水 | 2頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 6月27日 | 吉野谷村雄谷 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 6月14日 | 尾口村一里野 | 3頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 6月28日 | 白峰村大杉谷 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1987年 8月 3日 | 辰口町湯屋 | 1♂ | 中山佐一郎 | 9105 |
| 1989年 8月11日 | 小松市粟津 | 1♀ | 中山佐一郎 | 9127 |
| 1980年 6月24日 | 小松市鞍掛山 | 1頭 | 中山佐一郎 | 9024 |
| 1987年 5月28日 | 小松市塩原 | 3♂ | 中山佐一郎 | 9105 |
| 1991年 5月26日 | 小松市観音下 | 2頭目撃 | 松井正人 | |
| 1985年 6月16日 | 小松市岩淵 | 1♀ | 中山佐一郎 | 9104 |
| 1985年 5月31日 | 小松市原 | 1♂ 1♀ | 中山佐一郎 | 9104 |
| 1985年 6月22日 | 小松市五国寺 | 1♀ | 中山佐一郎 | 9105 |
| 1985年 6月 2日 | 小松市三ツ屋 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1987年 6月10日 | 小松市上麦口 | 1♂ | 中山佐一郎 | 9105 |
| 1988年 5月25日 | 小松市瀬嶺 | 1♀ | 中山佐一郎 | 9106 |
| 1983年 5月21日 | 小松市西俣 | 1♀ | 中山佐一郎 | 9104 |
| 1989年 5月24日 | 小松市打木 | 1頭 | 中山佐一郎 | 9127 |
| 1989年 6月18日 | 小松市大杉奥 | 1♀ | 中山佐一郎 | 9127 |
| 1985年 6月11日 | 小松市大倉岳 | 1♀ | 中山佐一郎 | 9105 |
| 1977年 8月11日 | 小松市滝ヶ原 | 1♂ | 中山佐一郎 | 9024 |
| 1980年 8月 1日 | 小松市中峠 | 1♂ 1♀ | 中山佐一郎 | 9024 |
| 1991年 5月26日 | 小松市長谷 | 2頭目撃 | 松井正人 | |
| 1983年 8月22日 | 小松市動山 | 2♂ | 中山佐一郎 | 9104 |
| 1990年 5月20日 | 小松市日用 | 1♂ | 中山佐一郎 | 9127 |
| 1980年 8月17日 | 小松市木場 | 1♂ | 中山佐一郎 | 9024 |
| 1980年 6月28日 | 小松市遊泉寺 | 1♂ | 中山佐一郎 | 9024 |
| 1984年 6月 7日 | 小松市里川 | 1♀ | 中山佐一郎 | 9104 |
| 1986年 9月 8日 | 小松市蓮代寺 | 1♀ | 中山佐一郎 | 9105 |
| 1992年 9月 6日 | 加賀市刈安山頂上 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 9月 6日 | 加賀市橋立 | 1♂ 1♀目撃 | 松井正人 | |
| 1985年 6月 9日 | 加賀市大聖寺 | 1♀ | 中山佐一郎 | 9105 |
| 1978年 6月 9日 | 山中町山中温泉 | 2頭目撃 | 松本和馬 | 2001 |
| 1981年 8月16日 | 山中町鶴ヶ滝 | 1頭目撃 | 松井正人 | |

2 ベニヒカゲ

白山地域のダケカンバ帯より上の草地で見られる。谷川に沿って、ダケカンバ帯、更にはブナ帯まで降りてくるものも見られる。

文献

| | | | | |
|-------------|-------------|------|--------|------|
| 1991年 8月16日 | 尾口村白山見返坂 | 4頭目撃 | 松井正人 | |
| 1986年 8月17日 | 尾口村白山四塚山 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1988年 8月15日 | 尾口村白山七倉山 | 2頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 8月10日 | 尾口村白山七倉山下 | 2頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 8月10日 | 尾口村白山清浄原 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1991年 8月16日 | 尾口村白山薬師山 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1962年 8月 5日 | 白峰村甚の助～彌陀ヶ原 | ♂ | 田中 蕃・他 | 9001 |
| 1972年 7月31日 | 白峰村白山ワンゲル道 | 多数目撃 | 松井正人 | |
| 1991年 8月14日 | 白峰村白山観光新道 | 多数目撃 | 田辺幸雄 | |
| 1992年 8月23日 | 白峰村白山黒ボコ岩付近 | 多数目撃 | 竹谷宏二 | 2100 |
| 1970年 8月12日 | 白峰村白山砂防新道 | 6頭目撃 | 松井正人 | |
| 1983年 9月 2日 | 白峰村白山三の峰 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1985年 8月29日 | 白峰村白山釈迦岳 | 目撃 | 松田俊郎 | |
| 1991年 8月11日 | 白峰村白山釈迦岳千仞滝 | 多数目撃 | 松井正人 | |
| 1991年 8月11日 | 白峰村白山釈迦林道 | 目撃 | 竹谷宏二 | |
| 1992年 8月14日 | 白峰村白山釈迦林道上部 | 多数目撃 | 竹谷宏二 | 2100 |
| 1982年 8月13日 | 白峰村白山真砂坂 | 多数目撃 | 吉村久貴 | 2035 |
| 1980年 8月24日 | 白峰村白山殿ヶ池小屋 | 1頭目撃 | 竹谷宏二 | 1047 |
| 1984年 8月14日 | 白峰村白山南竜馬場 | 目撃 | 吉村久貴 | 2051 |
| 1985年 7月31日 | 白峰村白山別山 | 数♂目撃 | 金子二久 | 2058 |
| 1970年 7月19日 | 白峰村白山別当出合 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1975年 8月 2日 | 白峰村白山油坂 | 1頭 | | 9002 |
| 1969年 8月19日 | 白峰村別山千振尾根 | 数頭目撃 | 倉橋 弘・他 | 1014 |

3 クモマベニヒカゲ

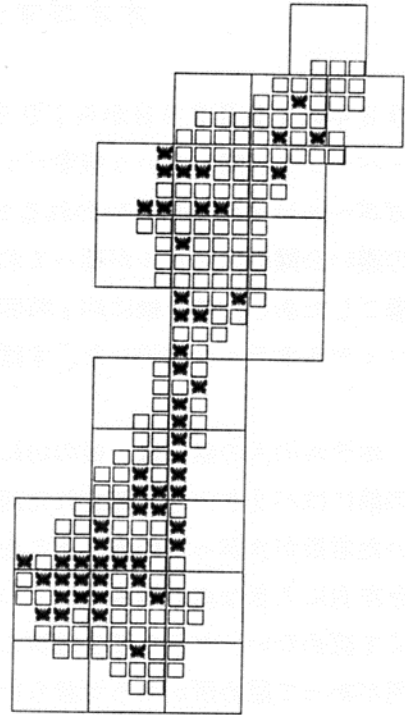
白山地域のダケカンバ帯より上の草地で見られる。前種より発生が早いように言われているが、あまり変わらないように思われる。

文献

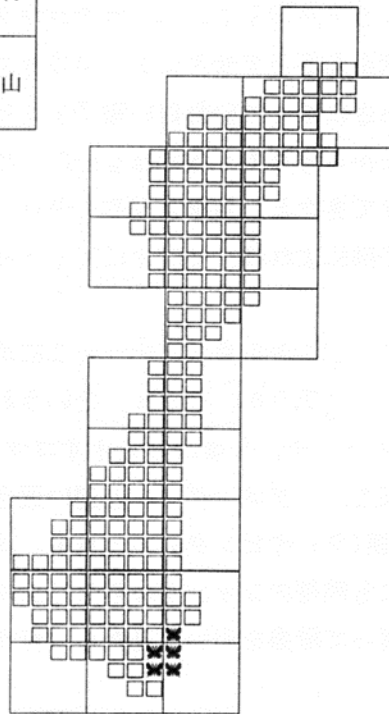
| | | | | |
|-------------|-------------|------|--------|------|
| 1986年 8月18日 | 尾口村白山七倉山 | 2頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 8月10日 | 尾口村白山七倉山下 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 8月11日 | 尾口村白山清浄原 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1962年 8月 5日 | 白峰村甚の助～彌陀ヶ原 | ♂ | 田中 蕃・他 | 9001 |
| 1972年 7月31日 | 白峰村白山ワンゲル道 | 数頭目撃 | 松井正人 | |
| 1991年 8月14日 | 白峰村白山観光新道 | 数頭目撃 | 田辺幸雄 | |
| 1992年 8月23日 | 白峰村白山黒ボコ岩付近 | 4頭目撃 | 竹谷宏二 | 2100 |
| 1985年 8月29日 | 白峰村白山釈迦岳 | 目撃 | 松田俊郎 | |
| 1991年 8月11日 | 白峰村白山釈迦岳千仞滝 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 7月19日 | 白峰村白山釈迦林道 | 1頭目撃 | 松井正人 | |
| 1992年 8月14日 | 白峰村白山釈迦林道上部 | 2頭目撃 | 竹谷宏二 | 2100 |
| 1953年 8月15日 | 白峰村白山真砂坂 | 1頭 | 小坂 巖 | 9104 |
| 1992年 8月31日 | 白峰村白山別山付近 | 6頭目撃 | 竹谷宏二 | 2100 |

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 珠洲岬 | | | |
| 輪島 | | 宝立山 | 能登田 |
| 剣地 | 穴水 | 宇出津 | |
| 富来 | 七尾 | 小瀬 | 口戸 |
| 氷見 | | 蛇ヶ島 | |
| 津幡 | 石動 | | |
| 金沢 | 城端 | | |
| 小松 | 鶴来 | 下梨 | |
| 大聖寺 | 白峰 | 白川村 | |
| 永平寺 | 越前山 | 白山 | |

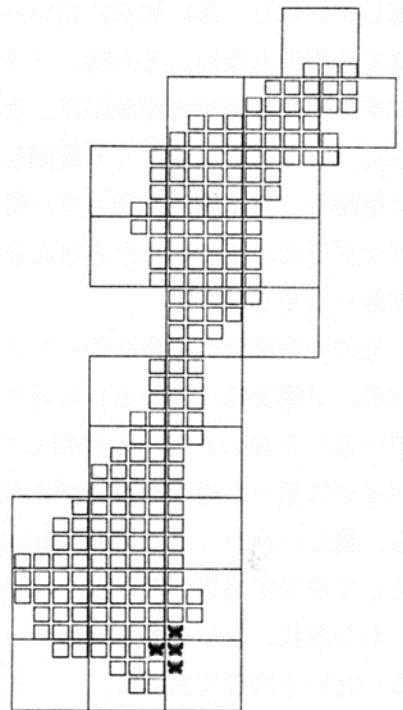
石川県をカバーする
5万分の1地形図



ヒメウラナミジャノメ



ベニヒカゲ



クモマベニヒカゲ

オオゴマダラは白い帽子で

澤田 博

1993年の12月25日から1994年の1月1日まで、マイツアー「クアラルンプール・ペナン8日間」という格安パックツアーに家族で出かけた。

シンガポールは公園都市といわれるが、クアラルンプールも負けずに美しい公園都市で、緑の濃い公園の中にビルが建っており、芝生広場が広がっている。クアラルンプールで2日過ごしたあと、飛行機に約1時間乗り、ペナン島に渡り、フェリングビーチにあるパークロイヤルホテルに宿泊した。すばらしいリゾートホテルで、後にはすぐ山が迫っている。

さて、ホテルの人の話では、後の山に登るには、すぐ近くにりっぱな道があるという。ホテルの前にはバリケードで囲まれた通信施設があり、無断で入ったものは射殺する旨の絵を書いた看板がさがっている。そこを山の方へ曲がって舗装道路が続いている。この道を行くと左右に大きな赤い看板がいくつも立っていて英語とマレー語でなにか書いてあるが難しくて読めない。どうも警告看板らしい。さらに行くと水道施設であるむねの看板があり、門があって詰め所があるが誰もいない。怒られたら帰ることにして、中へ入った。

そこから先はジャングルを切り開いた道で1車線ながら舗装してあり、採集には絶好の場所であった。ツمامラサキマダラ、シロテンルリマダラ、モリノオナガシジミなどを採集していると、高い樹冠に白いハンカチが翔んでいる。オオゴマダラの仲間だ。とても降りてきそうもない。その時、「手拭をふるとアサギマダラが降りてくる」という「翔」の記事(NO.92)が頭に浮かんだ。とっさに被っていた白い帽子をぐるぐると頭の上で振ってみた。なんと！ ゆっくり回転しながら降りてくるではないか。ネットをひと振り、見事に空振り。再度帽子を振って、降りてきたところをようやくキャッチイン。フタホシオオゴマダラだ。見ていたかみさんと子供によれば、ビデオにでもとっておきたいような光景であったそうなの。

そのうち施設の係員がやってきて、どこから来たかの、どこに泊まっているなど聞かれたが、「蝶を採っている」と言うと、「そうか、そうか」というわけで、「あそこに飛んでいる」と言われて、かけだしてキャッチ、今度はヒメオオゴマダラであった。そこにバイクに乗った地元のカップルが来て、「ダメ、ダメ」と追い返されていた。蝶のほかにも、美しいハンミョウ *Calochroa* 属(?) やピンクのハゴロモ、エリマキトカゲの仲間、そしてウツボカズラなどが、いかにも熱帯のジャングルらしくあふれかえっていた。

ちなみに、入口の警告看板は、帰って辞書を引いて見たら「無断で立ち入ると告訴される」という内容であった。

キンジソウでアサギマダラを吸い寄せよう

松井 正人

キンジソウって何だ

江戸時代から加賀の国で栽培されていたが、商品となって栽培が広がったのは昭和の始め。以来70年、金沢で目だって栽培されている。葉の裏面が赤紫色で、サツマイモの「金時」に似ているところから「金時草」と書くようになり、これをキンジソウと呼ぶようになった。

葉をちぎってサツとゆでると、ぬめりが出てくる。これを酢醤油におろし生姜で食べたり、三杯酢やポン酢、酢味噌合え、おろし合え、くるみ合え、お浸し等で食べる。夏場の健康野菜として独特の風味が金沢市民に親しまれている。

キンジソウは金沢だけの呼び名

マーケットなんかで赤紫色した葉を見て、「キントキソウってどうやって使うのかしら」なんて話している声を良く耳にする。どうもキンジソウは若い世代になじみが薄いらしく、ましてや近年金沢に移り住んだ人達は知らないようだ。金沢市農業センターに問い合わせたところ、「キンジソウ」の名は金沢でしか使われていず、一般には「水前寺菜（スイゼンジナ）」と呼ばれているらしい。

キンジソウはスイゼンジナ

「ス・イ・ゼ・ン・ジ・ナ」と聞いてピクツとした。アサギマダラを強烈に吸い寄せる吸蜜植物として、インセクタリウム（福田晴夫, 1991, NO. 336）で紹介されていた事がある。読みながら、「これさえあれば春季のマーキングがはかどるなあ」と思い、種をもらって蒔いてみようかとも考えていた。ところが牧野の植物図鑑（続）によれば「東アジアの熱帯原産。九州南部でしばしば自生」となっていたので、北陸では無理かも知れないとあきらめていた。

キンジソウが畑で作られているのは良く見ているが、花は見た事が無かった。前出の農業センターによれば、農家はキンジソウに花を咲かせず、もっぱら葉挿しで増やしているらしい。品種化が進んでいないので、良く着くとの事であった。説明してくれた人は、温室で1度だけ花を見たことがあるらしい。

キンジソウを咲かせよう

まさかこんな身近にスイゼンジナがあるとは思わなかった。葉挿しで簡単に増やせるし、苗はマーケットで簡単に手に入る。冬期の寒さはちょっと心配だが、霜にさえあてなければ大丈夫らしい。苗を大量に作り、アサギマダラの飛来が始まる5月の始め頃から咲くようにすれば、春季のマーキングは数をこなせそうだ。運が良ければ、マーキングされた個体が飛来するかも知れない。花期が調節できれば、もっとおもしろいだろう。

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

お目通りは叶わなかったが、かの有名な山地性ゴマを一目見ようと、砂御前を目指した富沢親子。クマにも採集者にも会わずに行けたらしいが、残念な事にゴマにも会えなかった。代わりにキベリやムラサキシジミが出迎え、猛暑の中をやってきた親子をなぐさめるのだった。

猛暑の後は迷虫天国だ！

この夏の日本列島は異常高温が続いている。気象台開設依頼の高温が目白押しで、各地で記録が塗り替えられている。そのせいも、南方系の虫も早々に顔を出し、白峰村でカバマダラが目撃されたり、ツマグロヒョウモンも例年になく多い。この分で行くと、秋は迷虫天国かも知れない。

わな、ワナ、畏

超多忙で何処へも行けないと公言していた井村博士に、県初記録のカミキリが採れたと連絡を入れた。忙しくて行

けないとの返事だったが、待つこと数時間、午前二時頃、ライトがチラチラする。やってきました。間違いない博士です。金沢から二時間かけてやってきました。やっぱり博士はカミキリ屋です。

オオトラカミキリはスカ

八月二十日カミキリ軍団、超多忙の井村博士を担ぎだし、岐阜の日和田高原へ。前日の夜から出発したオオトラ行だったが、成果はゼロ。

おもしろ会員欄は要注意

同好会の中には、会員向けの連絡誌を持っている所がある。蝶談会にはないが、この欄が会員向けになっている。冗談半分隠語ゾロゾロでおもしろ楽しいが、第三者はまともを受け取ってはならない。

各地に響いたクマゼミの声

今夏はあちこちでクマゼミの声が鳴り響いているらしい。これまでも何度か声を聞いた話は聞いているが、これだけ

まとまったのは始めて。とは言っても五か所だが、ようやく金沢にもクマゼミが定着したのだろうか。それにしても早く現物が見たい。

マイタケラーメンに舌鼓み

釈迦林道二度目のライトトラップは盛り上がり欠けたものの、翌日のマイタケ狩りは大量だった。松井氏は早朝から足元が頼りなかったが、マイタケが見つかるや否や、ましらのごとく山中を駆け巡った。昼は現地で祝杯を挙げ、採れたてのマイタケで作ったラーメンに舌鼓みを打ったのは言うまでもない。

ビッグニュースだよ！

驚いちゃいけない。何と小三と中一の宮本兄弟が入会した。ひと頃は十八歳で騒いでいたが、今度は二人合わせて二十二歳。ネットは四つ折り、展翅はシツカリ、採集日誌もバッチリつけている。何と言っても両親のバックアップが並じやない。兄は学(ま

なぶ)君、弟は大(だい)君、今後が楽しみである。住所は春日町三の三夢香山一〇〇七 TELは五二一三九〇五

例会の記録

八月五日(金)八時から城南管工二階にて開催。翌日の大燈火採集の打合せが終わると、めいめいかってに好きな話を始めた。

八日からラオスへ三週間。

昆虫総目録は七千種を目指す。小赤谷でウンコしてたら、ギフが飛んできた。樹冠の昆虫相は地上と違う。思わず手が出たゴイシモモブト。バケツトラップにピカピカキンカメが入った。若干使用のドイツ箱、四十箱で十七万円は高いか。虫なら何でも飼える人工飼料、インセクターL.F. 高田一先生関係は、共生それとも寄生。等々

参加は松井、中西、井村、生田、指田、上田、江崎、高田、井沢、徳本、澤田、野中、中川、永幡の十四人。澤田以後の四人はTEL参加。

会員の動き・しゃぼんの動き

大御所の成果はいかに？

七月三十日(土)、白峰村は大御所で賑わった。嵯峨井氏は重い腰を上げ、大杉谷から百合谷を巡り、横山氏は東北米沢からはるばる砂御前へ駆けつけ、勝海氏は三方岩、大杉谷、百合谷と忙しくまわった。あまり収穫は無かったように聞こえてきたが、翌日はどうしたのだろうか。

河内村の夜は今日も寂しく河内村のスキー場、冬場では閑散としたもの。こんなスキー場横で一人暮しをしている男がいる。毎晩タヌキやキツネを相手に酒盛りをしているが、たまにはTバックのポンポコダヌキでも出ないかと待ち望んでいる。

石川県昆虫総目録を作ろう

石川県から自然環境保全計画調査の委託を受け、石川むしの会と合同で、今年から4年間で昆虫総目録を作ることになった。八月三日に第一回の打合せ会があり、七千種を目指して頑張ろうということになった。

異色コンビは何処へ行った

井沢、腰本の超異色コンビ、マイカー規制の白山へ。ヒメオオクワガタの生態写真を撮りに出かけたらしいが、車は市の瀬でシャットアウト。その後、何処へ行ったのか定かではない。

釈迦岳でライトトラップ

八月六日、クマのあくびでも聞こえそうな白山ブナ林は、

ただならぬ喧騒に包まれた。十五人が参加し、思いの地に三幕をセット。酒盛りをしながら、飛来数を競いあったがライトに飛来するもの、アルコールに飛来するもの、果ては女性に飛来するものと、なかなか賑やかだった。

休暇は豪華に

夏休み、世の教師という教師は、学童、生徒、はたまた学生と共に長期休暇に入った。ラオス三週間とか沖縄二週間、サロベツでゲンゴロウとか入笠で避暑と言った話が乱れ飛んでいる。小学校より中学校、高校より大学と、上へ行くほど休暇は豪華になっている。

飛ぶ鳥落とすアカネコール

高羽、徳本の二氏を巻き込んだアカネプロジェクトは、確実に記録を伸ばしている。昆虫総目録作りの話も舞込み、これが追い風になって益々勢いづくとも思われる。そう言えば、トラップにツバメが入ったとか何とか騒いでいた。

翔

NO.110

1994年10月10日発行

百万石蝶談会

金沢市大場町東871-15 松井方

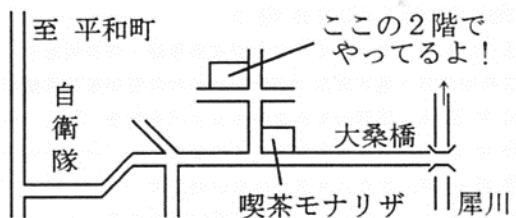
〒920-01 ☎0762-58-2727

郵便振替 00750-8-562

印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月の第1金曜日8時から

TEL参加もOKです(0762-44-3318)



目 次 (110号)

| | |
|-------------------------------|----|
| 生田省悟：ウラナミアカシジミの目撃・採集例若干 | 1 |
| 江崎功二郎・高田兼太：ヒゲガヒルリカミリの石川県初採集記録 | 2 |
| 松井正人：宝連山でムラサキシタバを拾う | 2 |
| 松井正人：石川県のジャノメチョウ | 3 |
| 澤田 博：オオゴマダラは白い帽子で | 7 |
| 松井正人：キンジソウでアサギマダラを吸い寄せよう | 8 |
| 編集部：会員の動き・しゃばの動き | 10 |